

国際ワークショップに参加して

中部大学 野村和泉

阪神も東日本大震災も、身近な知人がいたこともあり個人的には大きな関わりがありました。一方で、浜岡からも日本海側の発電所群からも至近距離であるにもかかわらず中部地方のどこか他人事の日常に飲み込まれ、職業人としては何もしてこなかったことを、今は恥じております。

現在、医者以外の医療系の学生や、中学高校で物理を学ばなかった理数系の学生を対象に、実験を含めた物理学を教える立場にあります。今回のワークショップへの最初の参加動機は、個人的な興味レベルでしたが、ワークショップを通して、職業人としての関わりを考えさせられました。私が非常勤講師として勤務する中部大学は、東海三県からの自宅通学生が大部分を占め、ディズニーランド以外には関東に行ったことのない2万人の学生から構成されています。諸般の問題をクリアできれば、初年度教育の一環に来年度から副読本として、坪倉先生の放射線に関する小冊子を取り入れたいと考えています。

災害への関わり方だけではなく、低線量放射線領域や生物領域の物理の豊かさに触れることが出来た一方で、今回のワークショップが聴講にとどまり何の寄与も出来なかったことを残念に思います。次回開催を楽しみにしています。